

青森中央学院大学卒業生（看護学部）に関するアンケート集計結果【施設用】（令和4年8月発送分）

対象年度：3期生 男：16名 女：71名 合計：87名

施設 総先数：53

卒業生 総先数：87 回答数：46 回答率：52.9 %

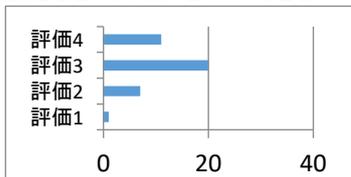
1. 本学卒業生について 回答数：39

評価基準

評価4 そう思う 評価3 ややそう思う 評価2 あまり思わない
 評価1 全く思わない

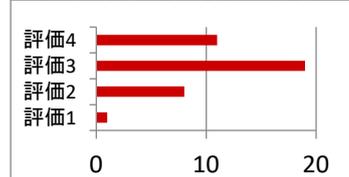
1) 看護学の基礎的な理論をもとに、対象を理解できる

評価4	11
評価3	20
評価2	7
評価1	1



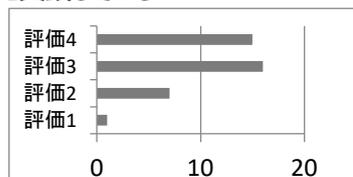
2) 対象の健康課題を分析し、問題点を明らかにできる

評価4	11
評価3	19
評価2	8
評価1	1



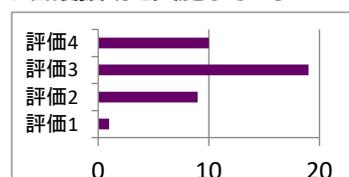
3) 対象に合わせた看護を実践している

評価4	15
評価3	16
評価2	7
評価1	1



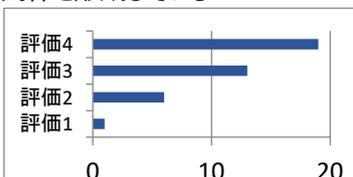
4) 科学的根拠を理解し、看護援助を実施している

評価4	10
評価3	19
評価2	9
評価1	1



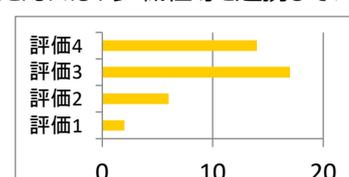
5) 看護の対象と適切な関係を形成している

評価4	19
評価3	13
評価2	6
評価1	1



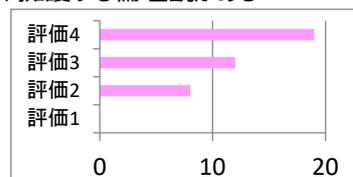
6) チーム医療の重要性を認識し、多職種等と連携している

評価4	14
評価3	17
評価2	6
評価1	2



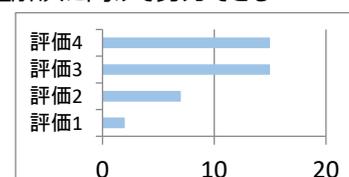
7) 対象の人権を尊重し、擁護する倫理観がある

評価4	19
評価3	12
評価2	8
評価1	0



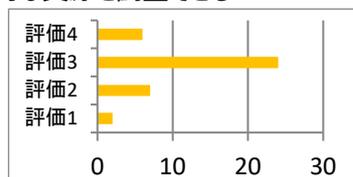
8) 自ら疑問をもち、問題解決に向けて努力できる

評価4	15
評価3	15
評価2	7
評価1	2



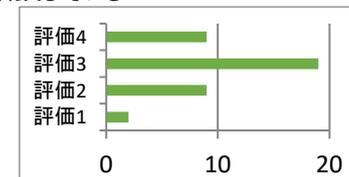
9) 人的・物理的・経済的な資源を調整できる

評価4	6
評価3	24
評価2	7
評価1	2



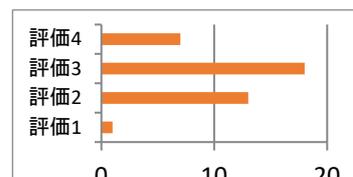
10) 専門職として自己研鑽している

評価4	9
評価3	19
評価2	9
評価1	2



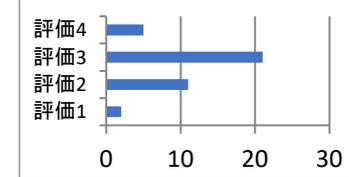
11) 専門職としての将来の目標を持っている

評価4	7
評価3	18
評価2	13
評価1	1



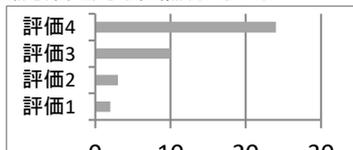
12) 自己の看護観を形成し、他者を表現できる

評価4	5
評価3	21
評価2	11
評価1	2

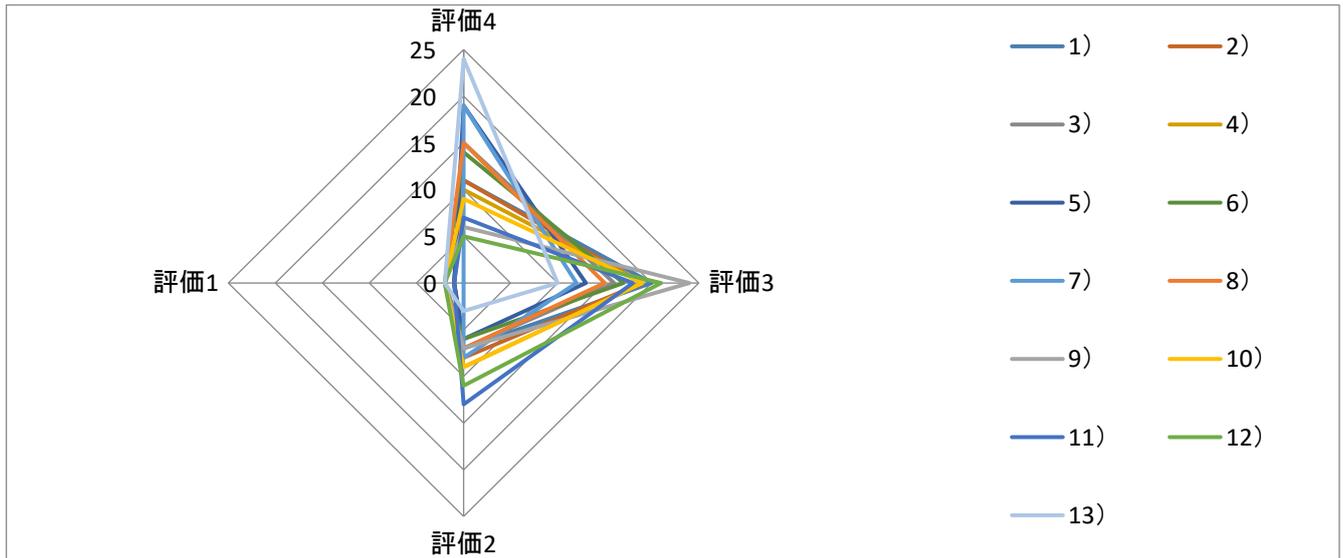


13) 当該の卒業生は、貴施設に対し貢献している

評価4	24
評価3	10
評価2	3
評価1	2



青森中央学院大学卒業生（看護学部）に関するアンケート集計結果【施設用】（令和4年8月発送分）



2-1. 卒業生の職種

入職時 保健師:3名 助産師:0名 看護師:36名 准看護師:4名 その他:1名 無回答2名 合計:46名
 現在 保健師:3名 助産師:1名 看護師:34名 准看護師:2名 その他:0名 無回答:6名 合計:46名

2-2. 退職時期

2020.12:1名 2021.3:1名 2021.12:2名 2022.8:1名 2022.10:1名 合計:6名

退職理由：

家庭の事情：1名 健康上の理由：1名 進学：1名 その他:3名（他施設へ:1名 結婚のため:2名）

2-3. 卒業生について、お気づきの点等

当初、対象者の話を傾聴する力が不足していたため職場で研修受講の機会を確保しました。パソコン操作（表計算、チラシ作成）は身につけていました。

- ・リーダー業務もはじまり、最後まで責任を持って業務している姿が見られています。今後楽しみます。
 - ・メンタルが強く多少の失敗や落ち込みがあっても自分なりに消化し前向きに取り組むことが出来ています。
 - ・とても勤勉で自己研鑽しています。何より患者に寄り添ったケアの提供が出来ています。
 - ・一年目は仕事に慣れるまでに時間がかかり同期と比べ気持ちが落ち込む事も多かったですが、国家試験を合格した2年目からは仕事にも慣れ何事にも積極的に取り組む姿勢がみられ「楽しい」という言葉が聞かれています。根拠を基に考え行動する力、観察力等、課題は多いですが日々経験を通して磨いていってほしいと考えています。
 - ・周囲のスタッフへの気遣いがあり協力的です。困難な事にも積極的に取り組む姿勢がみられます。
 - ・真面目に看護業務に従事していました。
 - ・いつも明るく元気に働いています。
- 自ら調べたり、考えを深めることができていないと感じる。病院で決められたルールが守れない社会人としての行動、自覚が不足していると感じる。指導してもすぐ直るものではないので、難しいと感じている。
- ・自己評価が高く、傷付きやすい方であり指導の仕方に悩む時がある。

現在通常の看護業務は行うことができず、補助者業務を行っている状態です。コミュニケーション能力や記憶力、思考力に難点があり教育で補うことは困難と感じます。

入職から2年目まで急性期病棟を経験しましたが、患者の気持ちに寄り添うことが出来ませんでした。実践力の向上も中々進まず、後輩との関係で支障がでたため、3年目は回復期リハビリ病棟でじっくり患者に寄り添うということを勉強してもらっています。大学卒ということで本人も自信を持っていたようですが、現場は患者の安全を一番に考えているため、実践力も足りず独り立ち出来ない状態です。学校の方でも、医療者として誠実に患者と向き合えるように看護倫理やコミュニケーションを学べるような機会をもっと多く持って頂ければ、本人達の入職後の苦労も少しは減るのではないかと思います。

青森中央学院大学卒業生（看護学部）に関するアンケート集計結果【施設用】（令和4年8月発送分）

入職後、専門的知識、技術を習得できるよう、病棟スタッフの協力を得ながらとても努力しました。教育カリキュラムから逸脱することなく成長しています。

13) について、経験年数に見合った成長をしています。チームの中で一看護師として職務を全うできていることを“貢献”していることとして評価しました。

当該者は、採用1年目は何をどう指導しても業務がうまくできず、タイムマネジメントを初めとしスタッフが大変苦労したと聞いています。私は2年目から関わったのですが、2年目7月に準夜、11月に深夜、2月にリーダーを開始すると過去に経験したことのない位、進みがゆっくりでした。3年目の現在はあの頃は何かだったのかと信じられない位しっかりと日々の業務を行っています。個々のペースを大切にききめずに指導し続けることの重要性を学ばせてもらいました。

本年度3年目（卒後）プリセプターとして新人と関わり更に成長しています。患者さんへの対応も良く感謝の手紙が個人あてできたこともありました。日々頑張っています。

- ・ 日常の業務態度は良く、分からないことなどがあれば積極的に質問するなど学ぶことへの意欲を感じます。
- ・ 公務員として保健師として活躍されています。一緒に仕事して頼りになりますし今後についても期待しています。

昨年は人間関係等で苦悩していた時期がありましたが、最近は同僚・先輩達との会話ははずみ明るくなったように感じられます。又、スキルアップの意識も高いと思われます。今年度は看護研究に取り組んでいますが、大学での学びを活かして頑張っています。

- ・ 前向きに頑張っています

まだ経験が浅いので周りのサポートは必要だが素直に指導を受け一生懸命、業務や学習に取り組んでいて、とても心強いスタッフの一人に成長しています。

待遇や患者対応はいいので問題はない。自己目標は高く語る事ができるが、それに向けての計画や行動が自主的にできない。

厳しい意見となりましたが貴大学の問題ではなく個の問題と認識しております。生理休暇、体調不良での休みは毎月必ず。勤務シフトに穴を開けることは珍しくないで周囲が慣れた感じです。公立の福利厚生性の良さを堪能しています。

- ・ 入職後、外科病棟に配属しましたが急性期病棟の流れについていけないため、他施設に移られました。
- ・ 看護業務を遂行する能力は秀でており、3年目としては期待以上の貢献をしてくれている。スタッフからの信頼もある。患者への対応も良く患者から親しみを持たれ“りかちゃん”と呼ばれている事をしばしば見かける。総合的に見て大変良い人材であると評価しています。

- ・ 自己の意見を言える積極性を望む。
- ・ 令和2年4月～6月のみ出勤した。その後は病気休暇でした。

本人の性格もあると思うが、同期入職者の中でも仕事に対する姿勢が「大人」だと感じている。外見に関して注意することもあるが何事も前向きに取り組んでいる。

- ・ 新採用から何事にも意欲的にとりくみ着実に知識・技術面で看護師としてのステップアップをしている。
- ・ 普段よりいつも力を借してくれています。3年目は中弛みしやすい時期ですのでそうならないように責任を持って指導していきます。普段はあまり感情を表に出すタイプではありませんが看護師に必要な熱い物は心に秘めているみたいです。今後の更なる成長に期待しています。
- ・ 卒なく業務を遂行出来ている。又、チームの一員として他のスタッフが病欠の際も勤務変更に協力を得られ協調性も高く評価している。当部署でなくてはならない存在です。自立した看護師としてリーダーⅡの研修も終了しステップアップ努力している。ナラティブシートを活用し自己の看護観を伝えることが出来ている。キャリア形成楽しみです。又、学習会看護研究にも取り組んでいる。

- ・ 現在育休中

入職時は患者との距離感がつかめないのか、敬語が上手に使えず患者とトラブルになる事もあったが、基本的に患者に対し優しく接する事が出来る本人のキャラクターと、本人の努力もあり現在は後輩からも頼られる看護師となったと思います。

- ・ 後輩の育成に積極的に取り組んでいる。
- ・ 新卒の入職でしたので、仕事を覚えることに精一杯で「看護」まではいけなかったと思います。ただとても頑張っていて周りとのコミュニケーションをとっていました。
- ・ 日々の業務は問題なくできているが、看護を考える力が弱いと感じる。（患者のアセスメント、個別性に合わせた看護を提供するために何が 필요한のか）

- ・ 一生懸命仕事に対して向き合って頑張っています。
- ・ 既卒の同期にたくさん指導を受けて頑張って成長しました。最近一般病棟から回復期へ異動となり、新たな看護を学んでいるところです。

看護師国家試験合格を目指しているという意思表示があったため勤務の配慮や業務時間内にも勉強をする時間を本人の希望で設けたが、自宅での自己学習はほぼ行っていなかった。勤務態度については本当に看護師になりたいのか、疑問を抱いてしまった。

青森中央学院大学卒業生（看護学部）に関するアンケート集計結果【施設用】（令和4年8月発送分）

2-4. 本調査について、お気づきの点

- ・ 毎年同様の調査をしていますが、どの様に生かされているか見えないです。
- ・ 学校教育の中で看護師としての適性について見定めていただけると大変ありがたいです。
- ・ 今、どのように県病を紹介しているかはわかりませんが、自分が4年の時に病院紹介できた話とちがうなどと思う事多々あり。（給料や休み、残業について）自分なら後輩にこの病院はおすすめしません。
- ・ 保健師業務のため、質問内容（看護職メイン）が回答しづらいと感じました。
- ・ 退職しているためたいへん申し訳ありませんが1の設問の回答はできません。
- ・ 大切に育てていただきました看護師のその後を学校様にお伝えする機会があまりないのでこのような機会は大変貴重であると思いました。ありがとうございました。